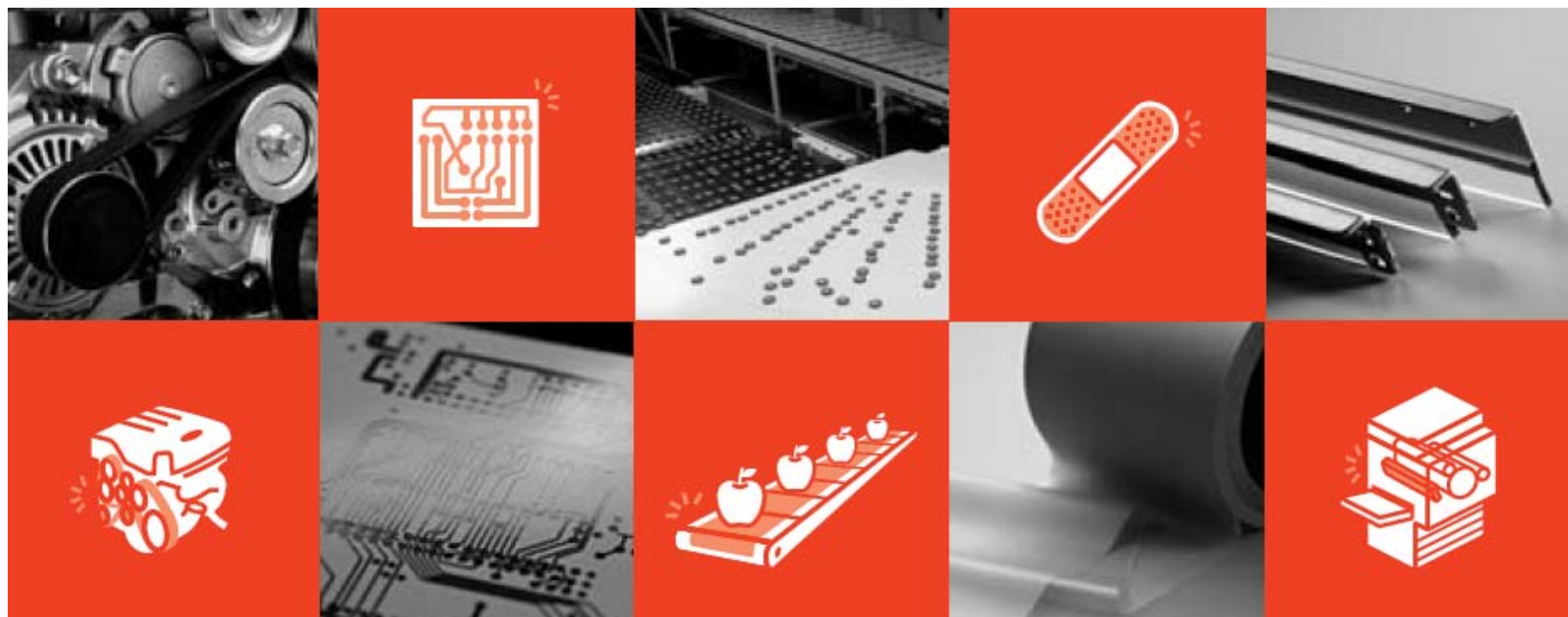




2014年3月期(第2四半期) 決算説明会

2013年11月26日

バンドー化学株式会社

I . 2014年3月期(第2四半期累計)決算の概要

II . 2014年3月期業績予想

III . 中期経営計画(BF-1)

IV . 参考資料

I . 2014年3月期(第2四半期累計)決算の概要

■ 2014年3月期 第2四半期ハイライト

連結業績

売上高	46,560百万円	(前年同期比 : 6.5 %増収)
営業利益	3,230百万円	(前年同期比 : 28.6 %増益)
経常利益	3,705百万円	(前年同期比 : 33.8 %増益)
当期純利益	2,762百万円	(前年同期比 : 57.7 %増益)

- 新中期経営計画「Breakthroughs for the future」の初年度がスタート
- 前年同期比、営業利益・経常利益とも大幅増益
- 事業本部制による事業部間のシナジーを発揮
- 国内販売会社の統合による商流の整理
- アジア地域における市場開拓や製品開発の促進
- 拠点の拡充(中国2・ベトナム)、技術センター(中国・タイ)、工場新設(インド)
→ 海外は14カ国21拠点体制へ
- インド新工場の量産開始、今春本格稼働に入り、下期でほぼフル稼働の見込

■ 2014年3月期 第2四半期ハイライト

ベルト事業

売上高	40,084百万円 (前年同期比：9.1%増収)
セグメント利益	3,014百万円 (前年同期比：16.9%増益)

- 自動車用：
海外における需要拡大と円安に牽引され増収。補機駆動用システム製品も堅調。
- 一般産業用：
国内は微増、アジア地域の市場拡大に伴い増収。
- 搬送用
国内は鉄鋼、石炭火力発電所向けコンベヤベルトの受注堅調。海外も資源開発投資が堅調に行われ、安定した需要。
軽搬送用ベルトもアジア地域での拡販と加工拠点の強化により増収。

■ 2014年3月期 第2四半期ハイライト

エラストマー 製品事業

売上高	6,004百万円 (前年同期比： 7.2%減収)
セグメント利益	116百万円 (前年同期比： +200百万円増益)

- 事業体質の改善により、減収なるも黒字に転換。
- 電子写真出力機器部品分野は、高機能ローラ新規案件の獲得により販売拡大を図るが、主力のクリーニングブレードが大幅に減収。
- 機能フィルム製品は、建築用化粧材、装飾表示分野で増収。

その他

売上高	1,270百万円 (前年同期比： 68.7%増収)
セグメント利益	55百万円 (前年同期比： 39.0%増益)
■ ロボット関連デバイス事業のほか、金属ナノ粒子の製造・販売などの新規事業。	

業績概要 (為替レート '13/3 2Q US\$=79.8円 '14/3 2Q US\$=95.9円)



売上高

営業利益

経常利益

当期純利益

ROA

■ 国内 ■ 海外

百万円

百万円

百万円

百万円

%

43,718

46,560

17,823

21,337

25,895

25,223

海外比率
45.8 %

海外比率
40.8 %

2,511

3,230

2,769

3,705

1,752

2,762

2.2%

3.2%

'13/3
2Q

'14/3
2Q

'13/3
2Q

'14/3
2Q

'13/3
2Q

'14/3
2Q

'13/3
2Q

'14/3
2Q

'13/3
2Q

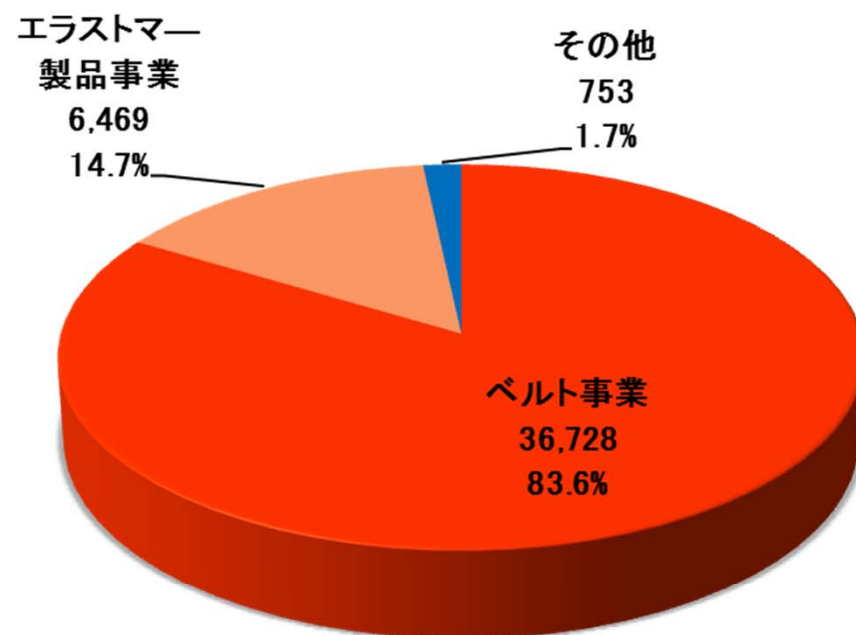
'14/3
2Q

2014年3月期 第2四半期 事業セグメント別売上高

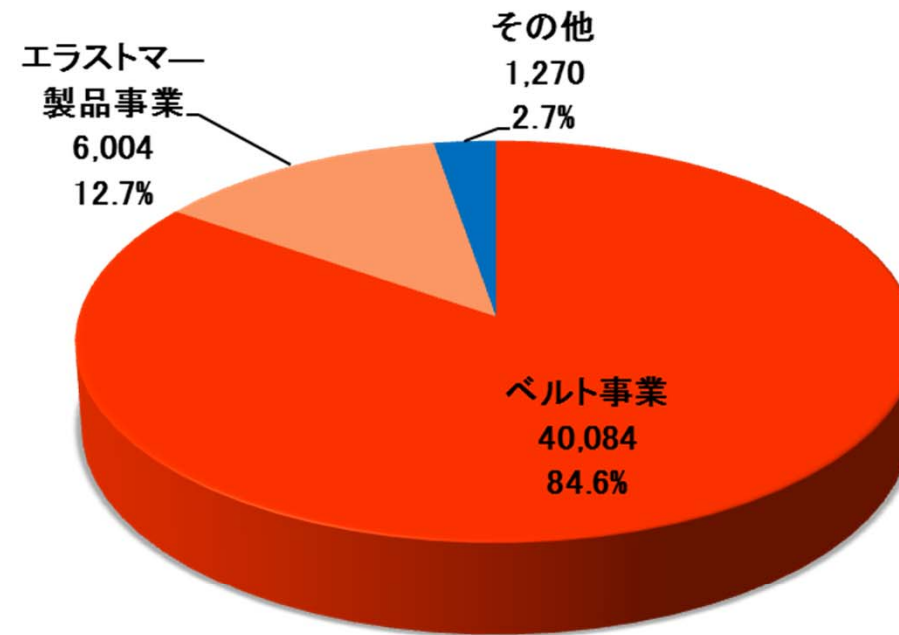
BANDO

単位:百万円

2013年3月期 第2四半期



2014年3月期 第2四半期



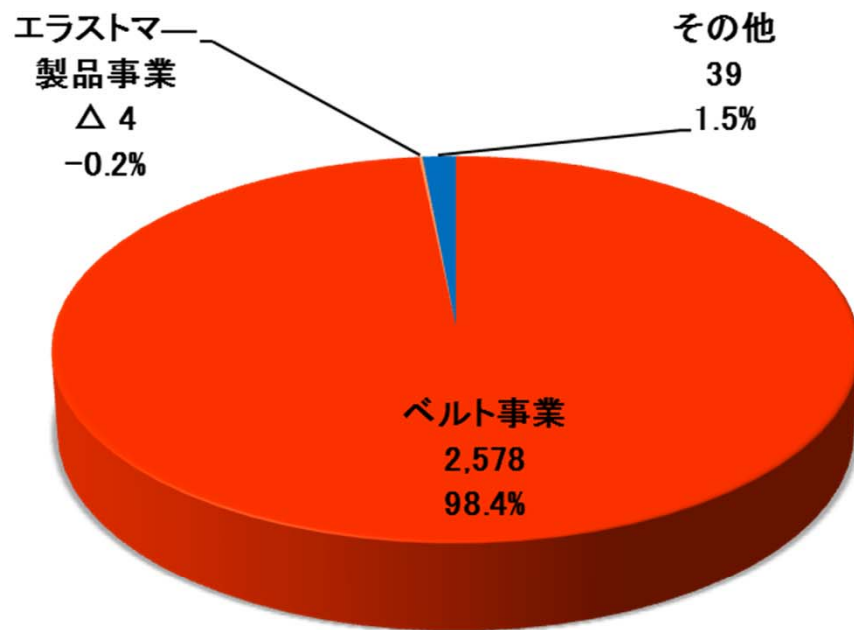
※セグメント間取引消去前(決算短信P9参照)

2014年3月期 第2四半期 事業セグメント別利益

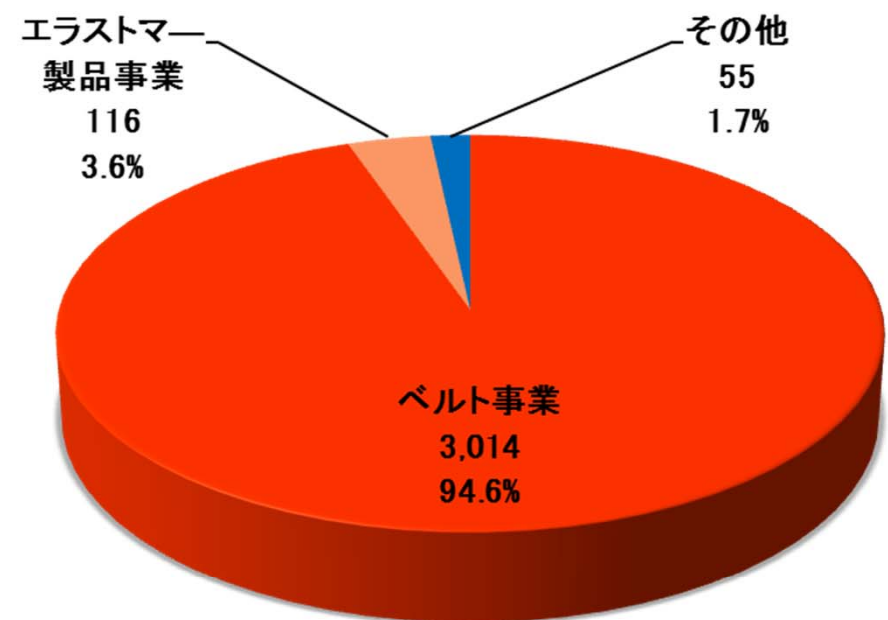


単位:百万円

2013年3月期 第2四半期

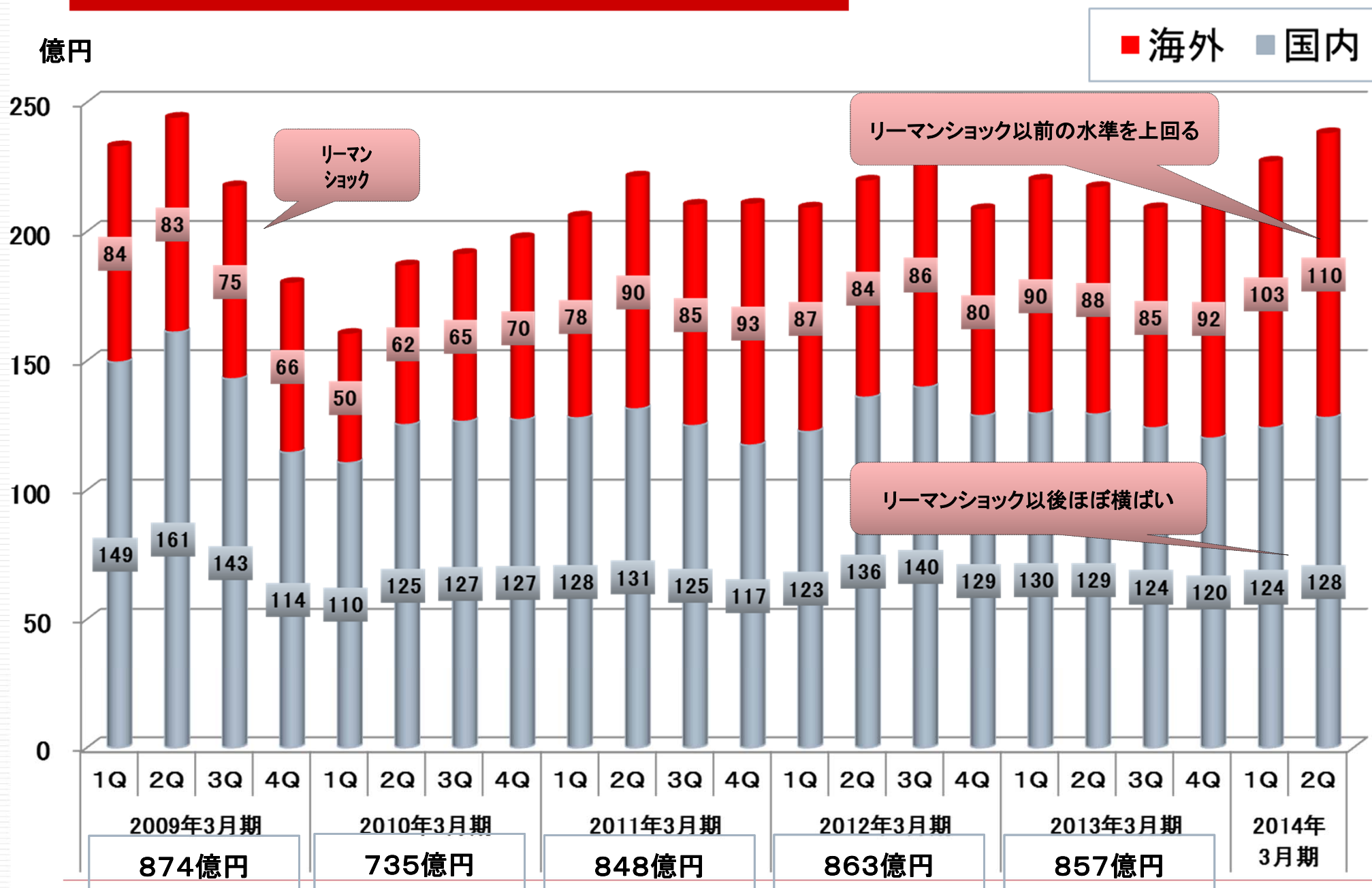


2014年3月期 第2四半期

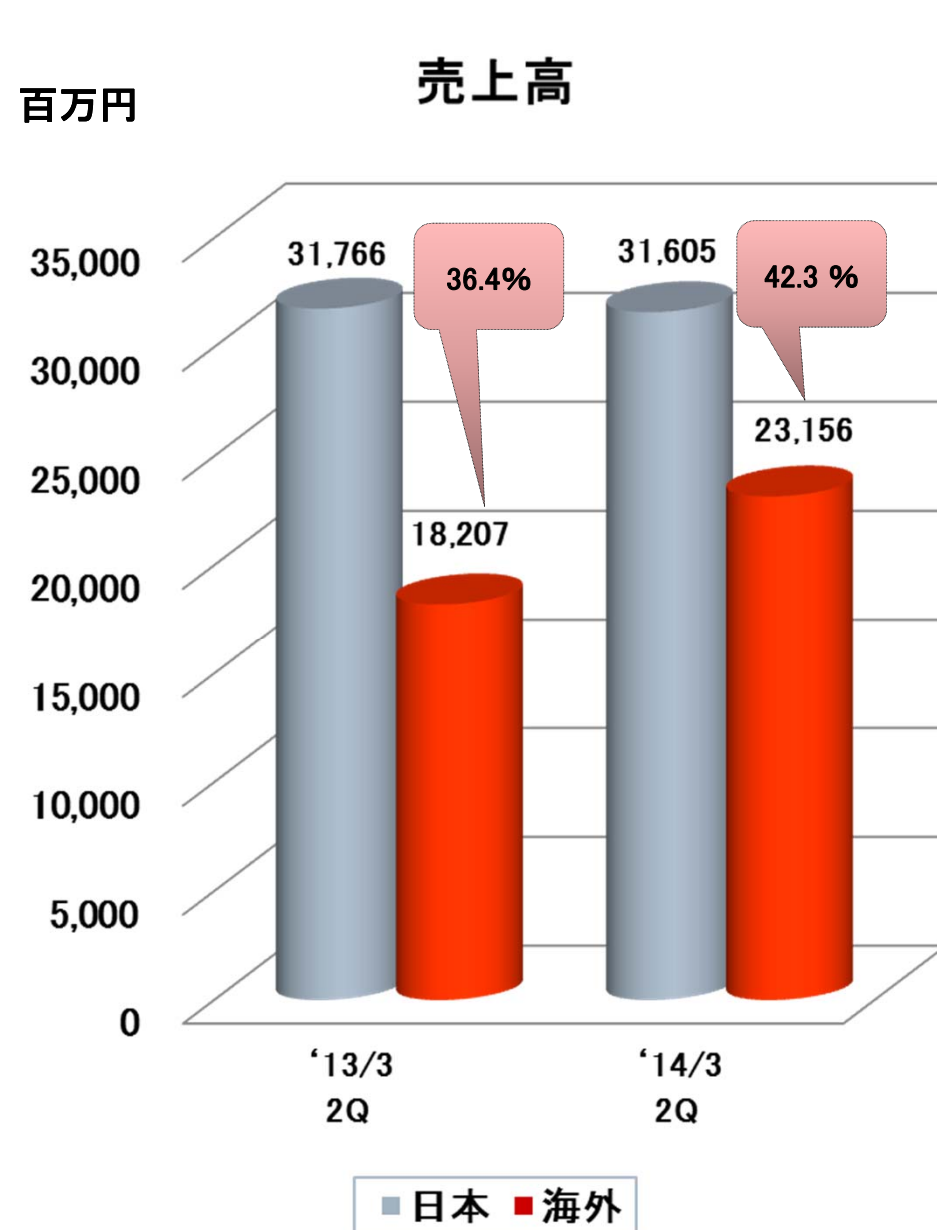


※セグメント間取引消去前(決算短信P9参照)

■ 連結売上高の推移

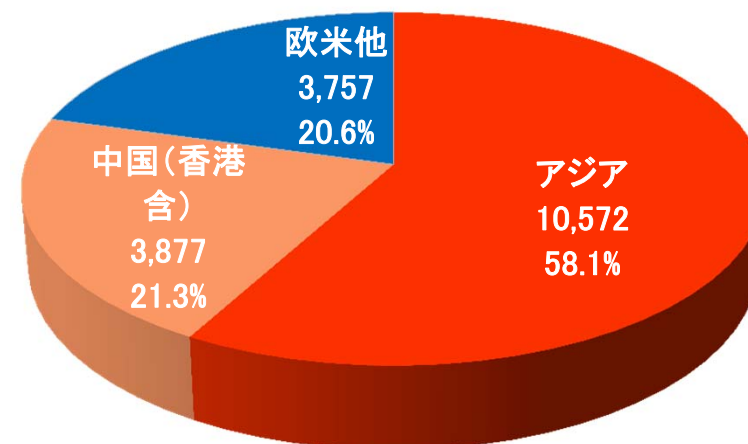


■ 所在地別業績（売上高）

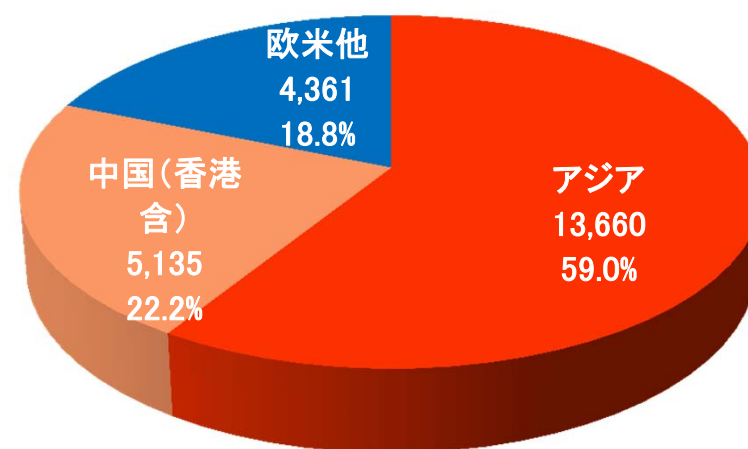


単位: 百万円

2013年3月期 第2四半期



2014年3月期 第2四半期

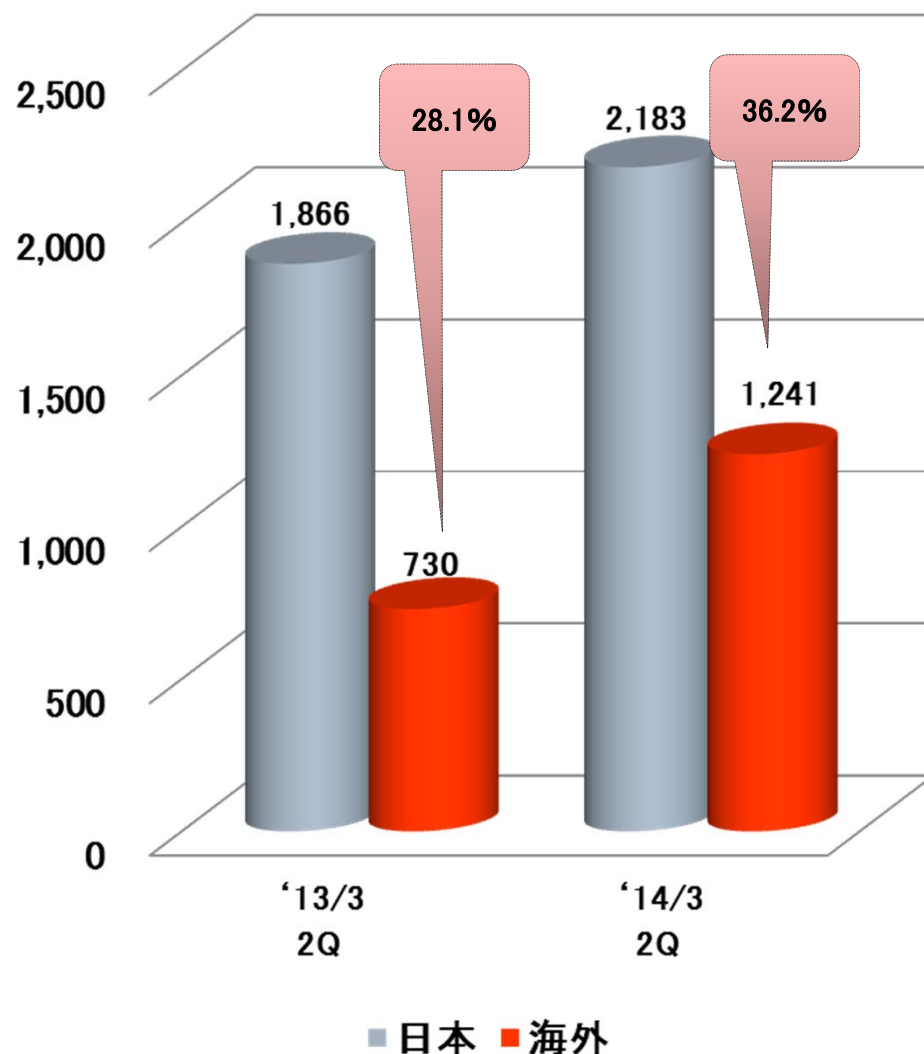


※セグメント間取引消去前

所在地別業績（営業利益）

百万円

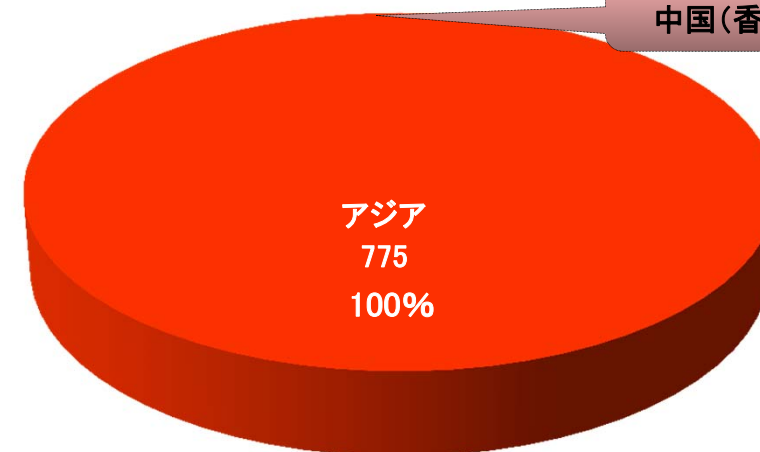
営業利益



単位:百万円

2013年3月期 第2四半期

欧米△44、
中国(香港含)0

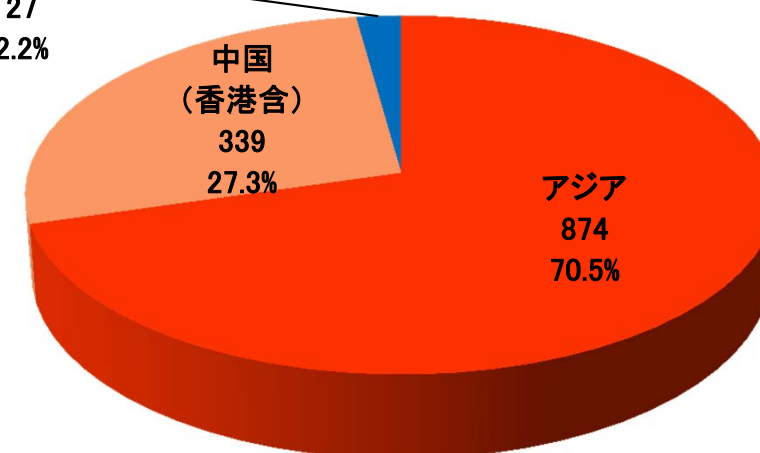


2014年3月期 第2四半期

欧米他
27
2.2%

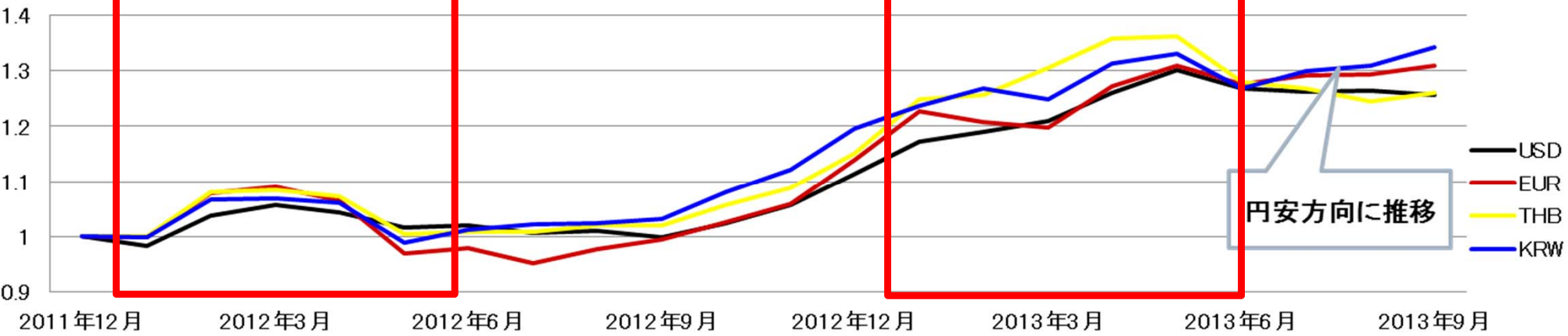
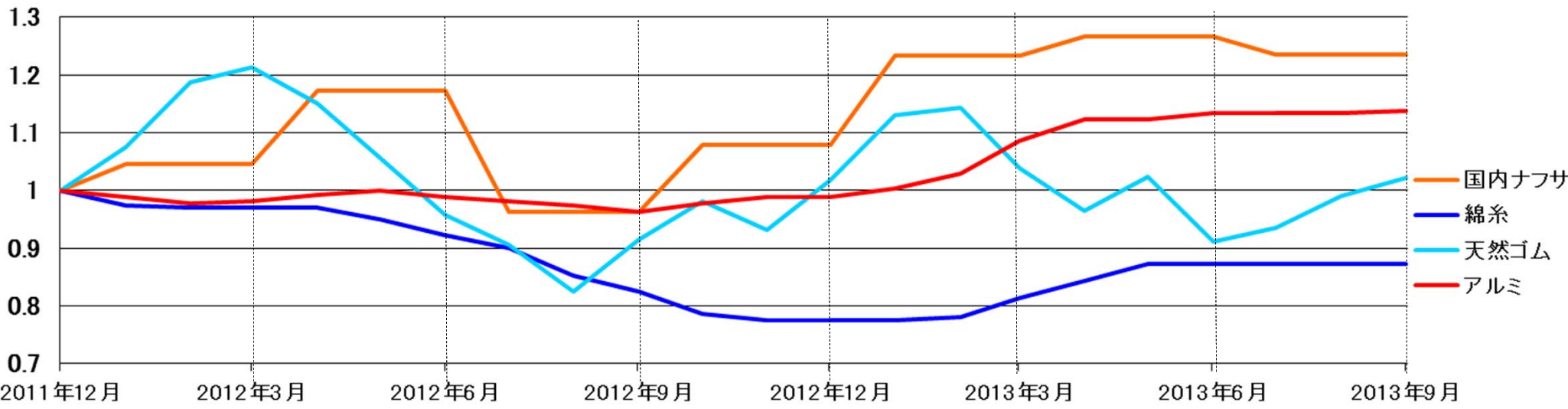
中国
(香港含)
339
27.3%

アジア
874
70.5%



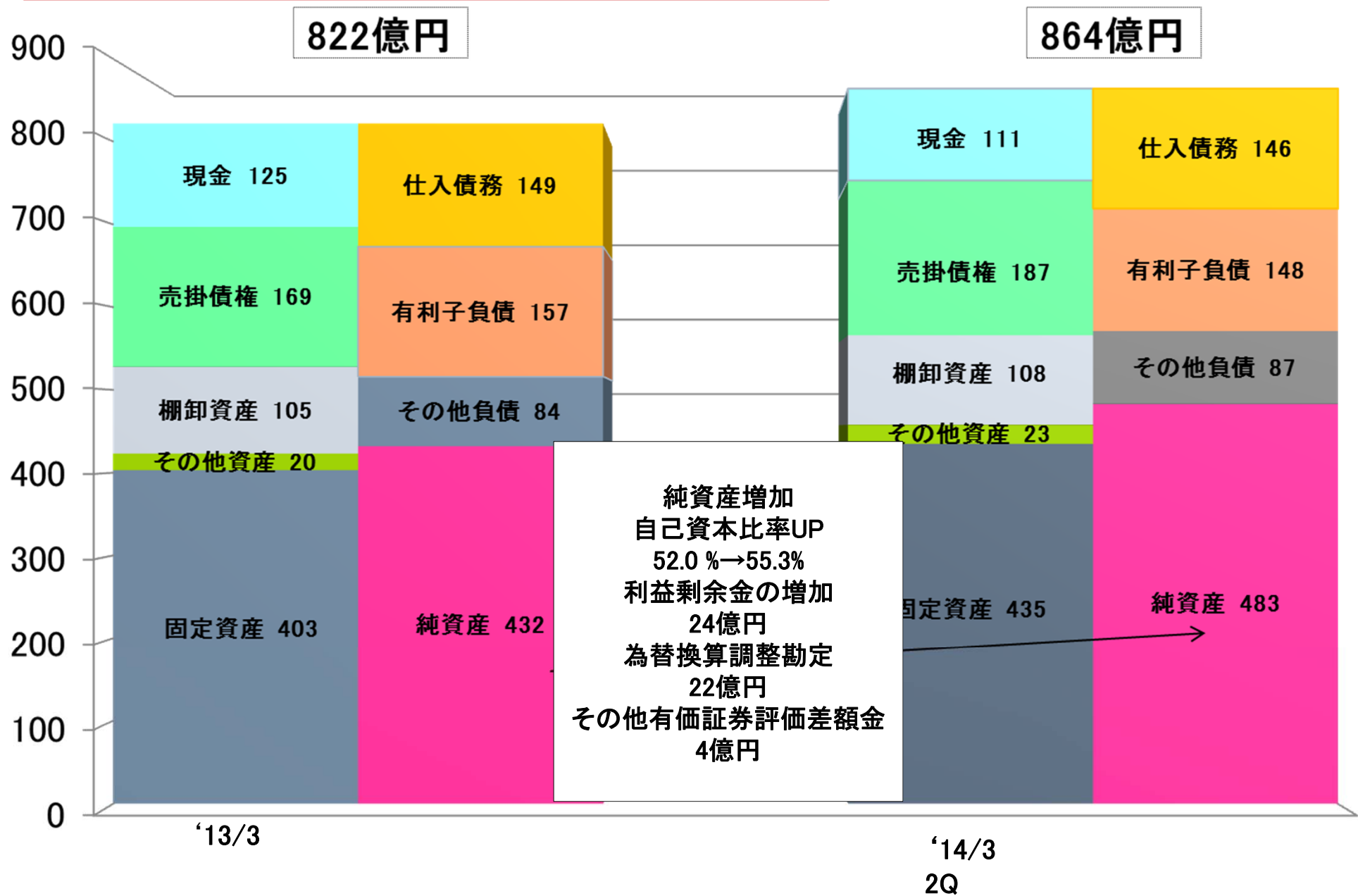
※セグメント間取引消去前

原材料価格(指標)および為替の推移

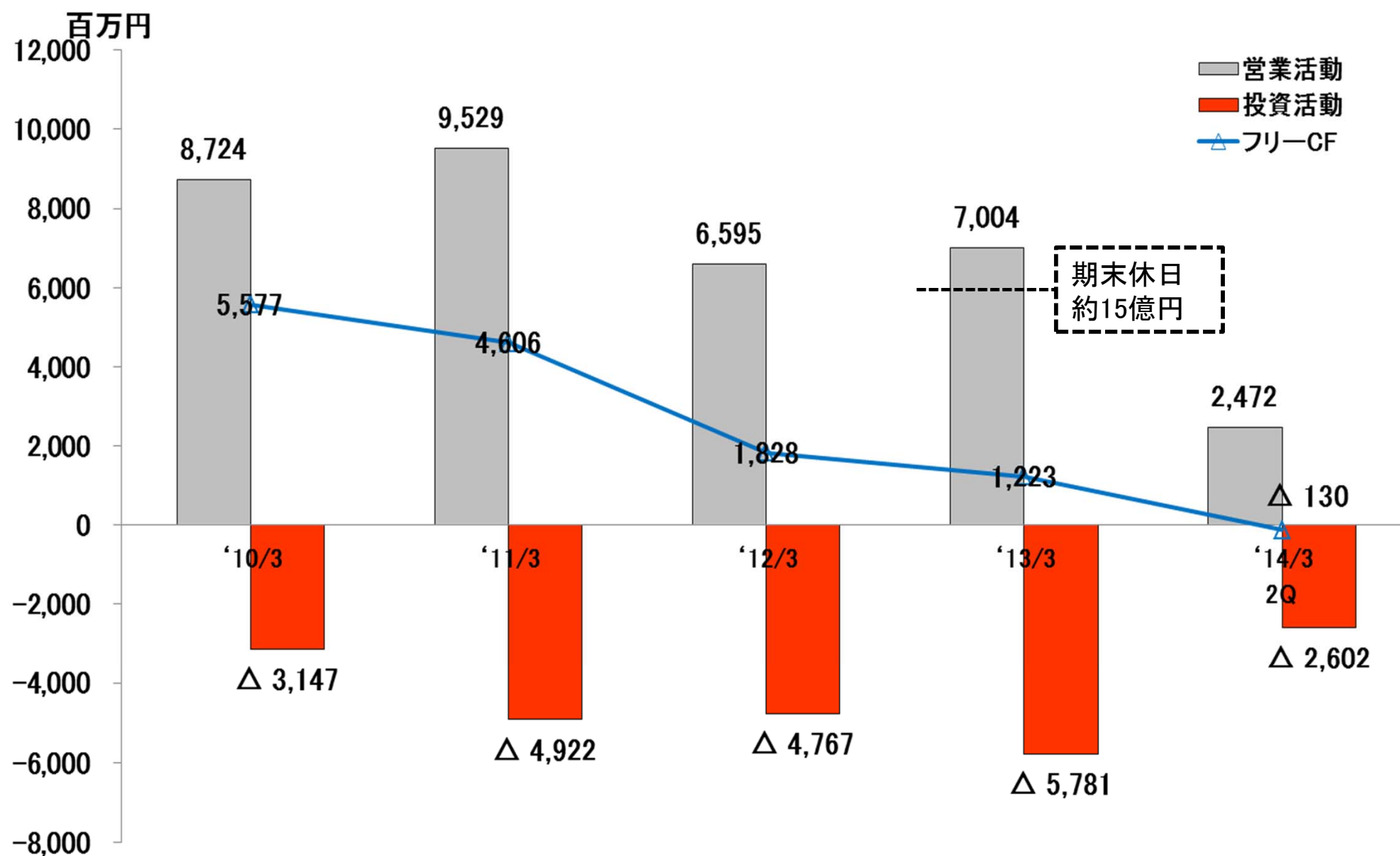


※原材料価格(指標)および為替は、2011年12月を基点としている。

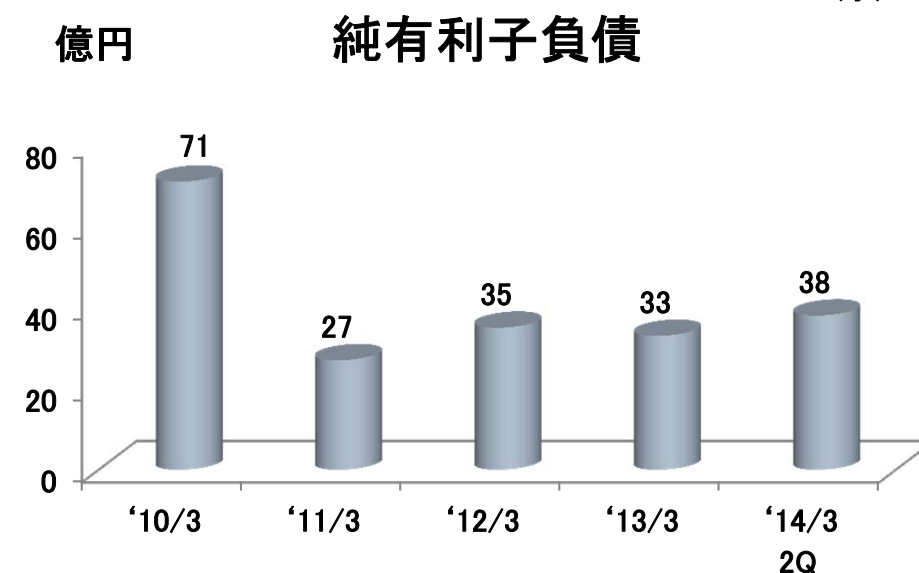
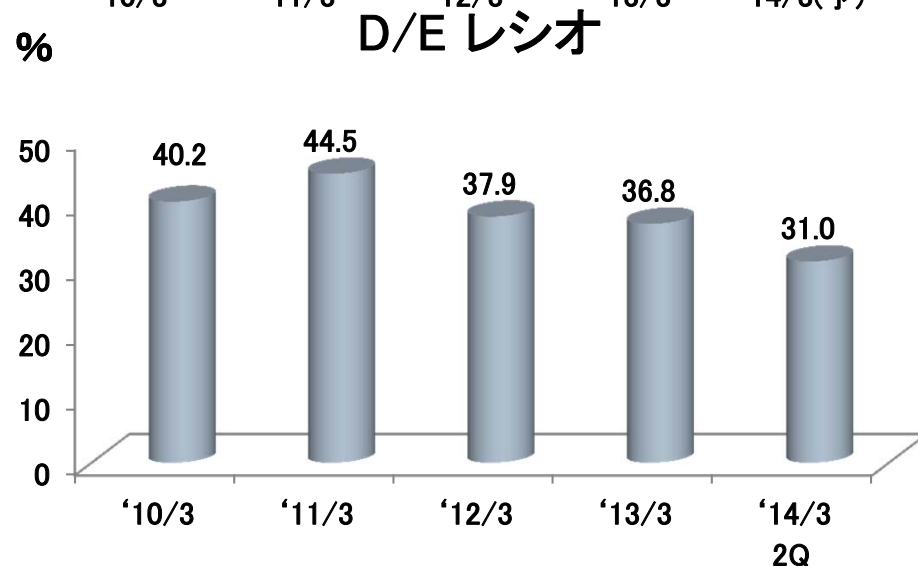
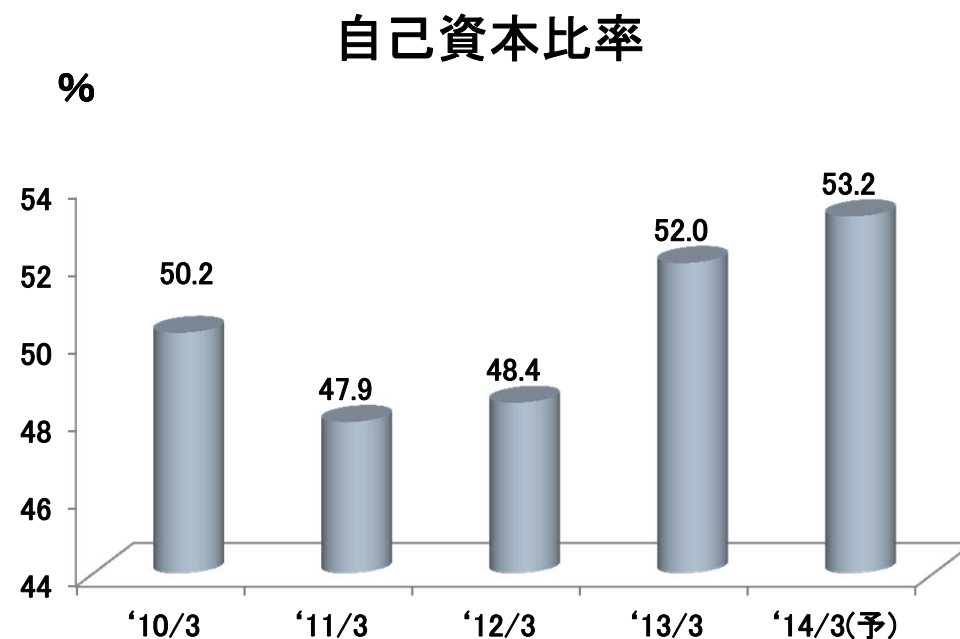
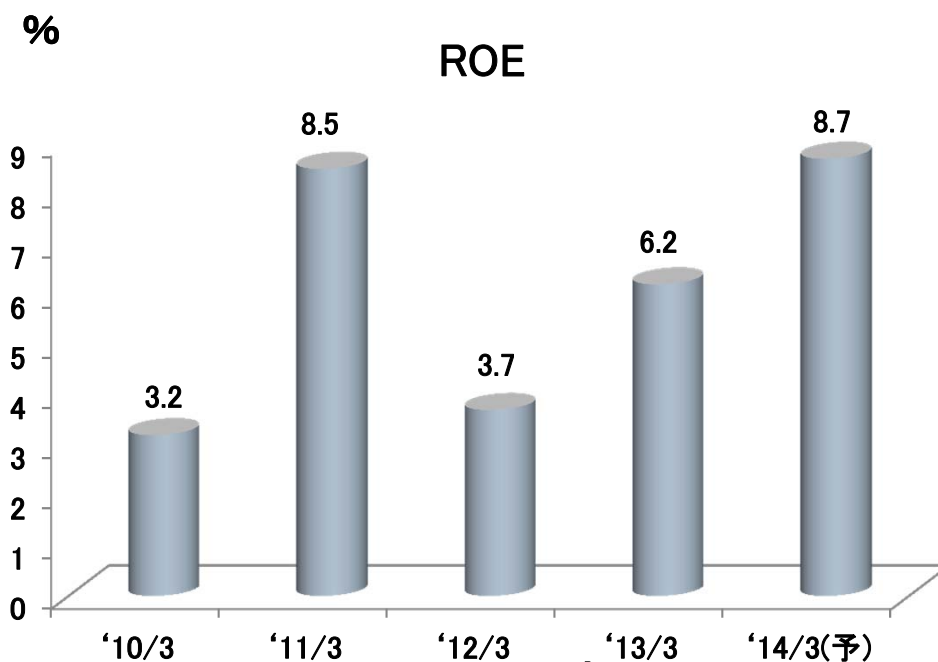
■ 連結貸借対照表



■ キャッシュフローの推移



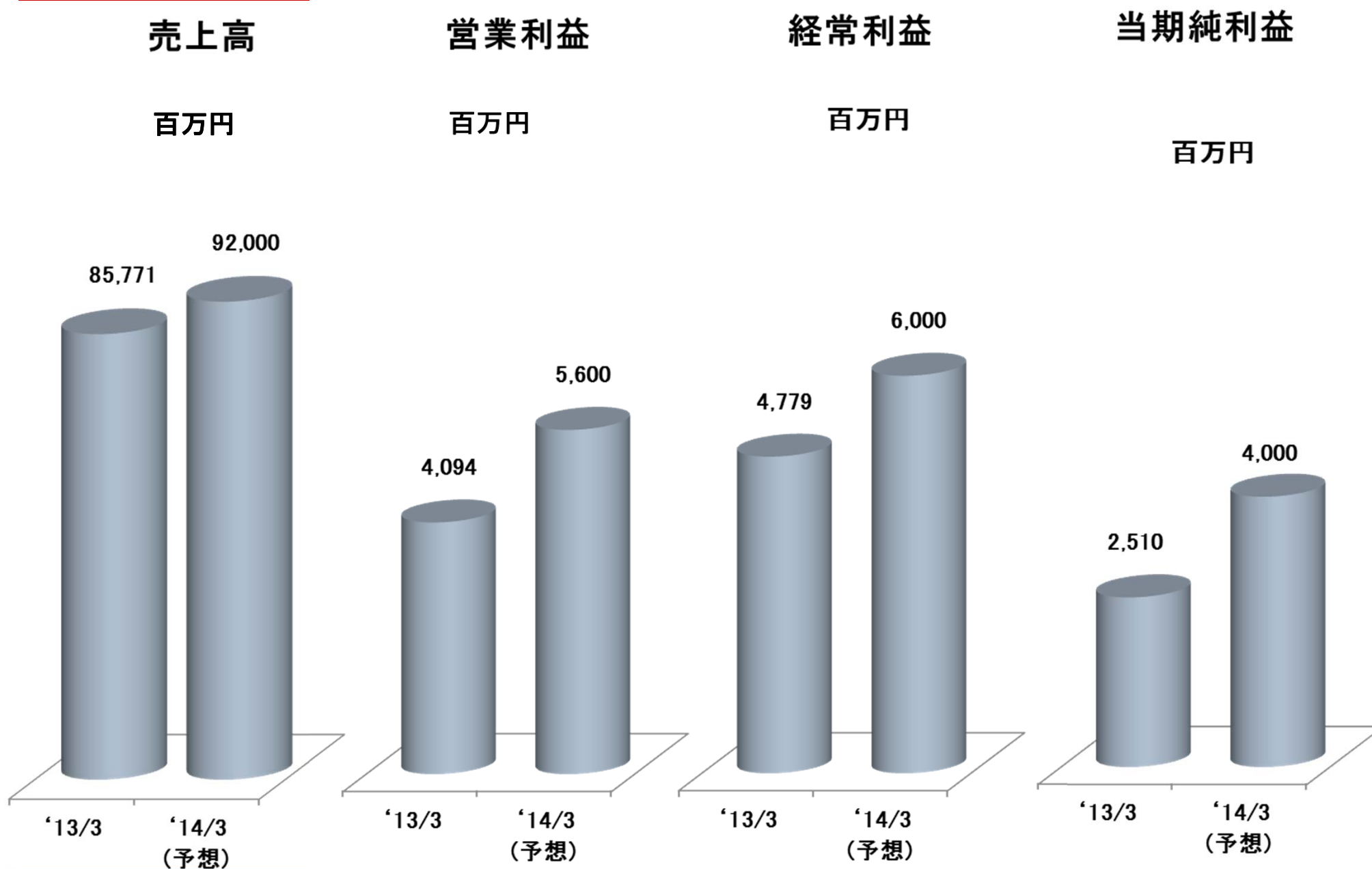
■ 財務指標



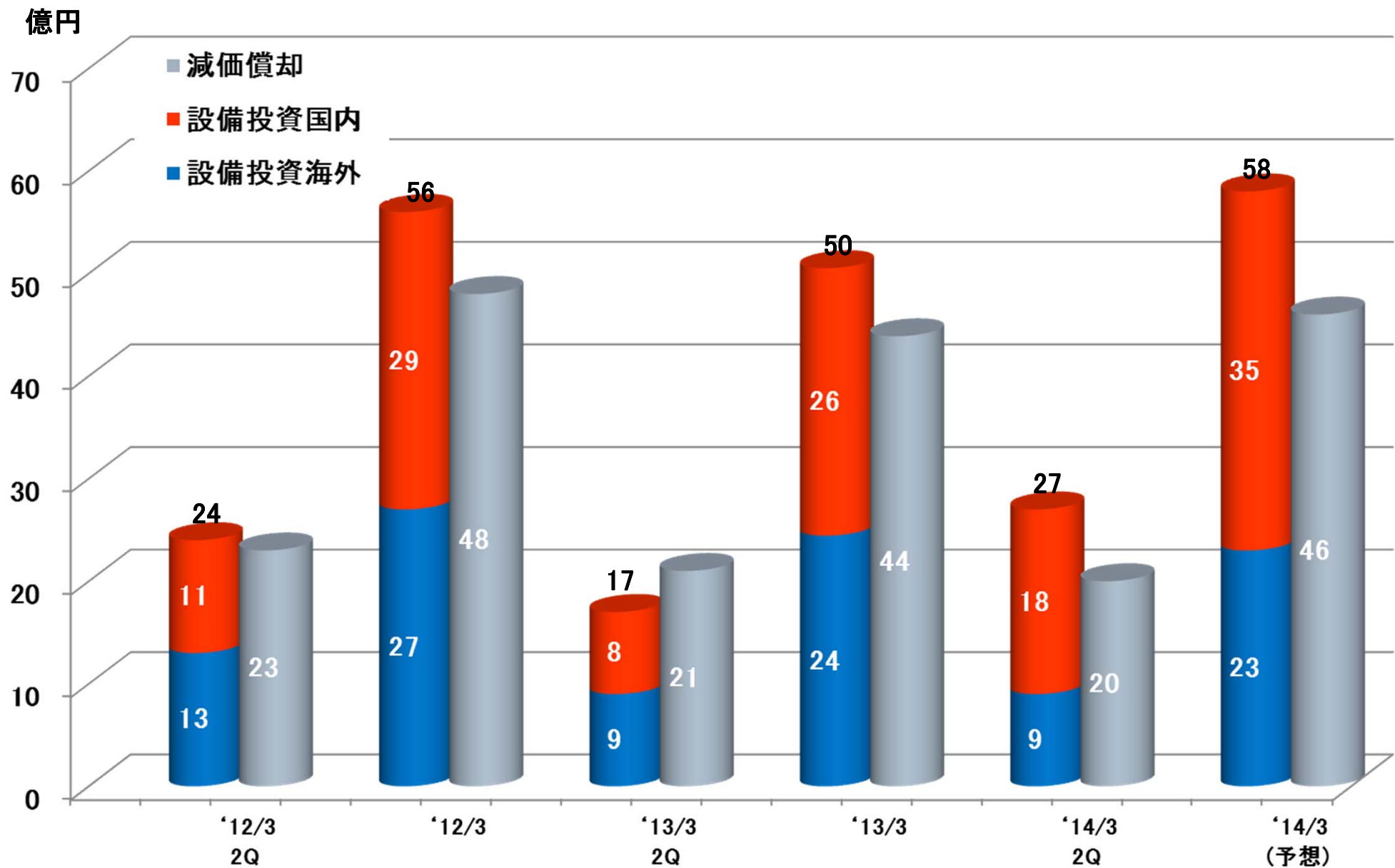
※ROEおよび自己資本比率については年換算

Ⅱ. 2014年3月期業績予想

■ 2014年3月期(通期)の業績予想

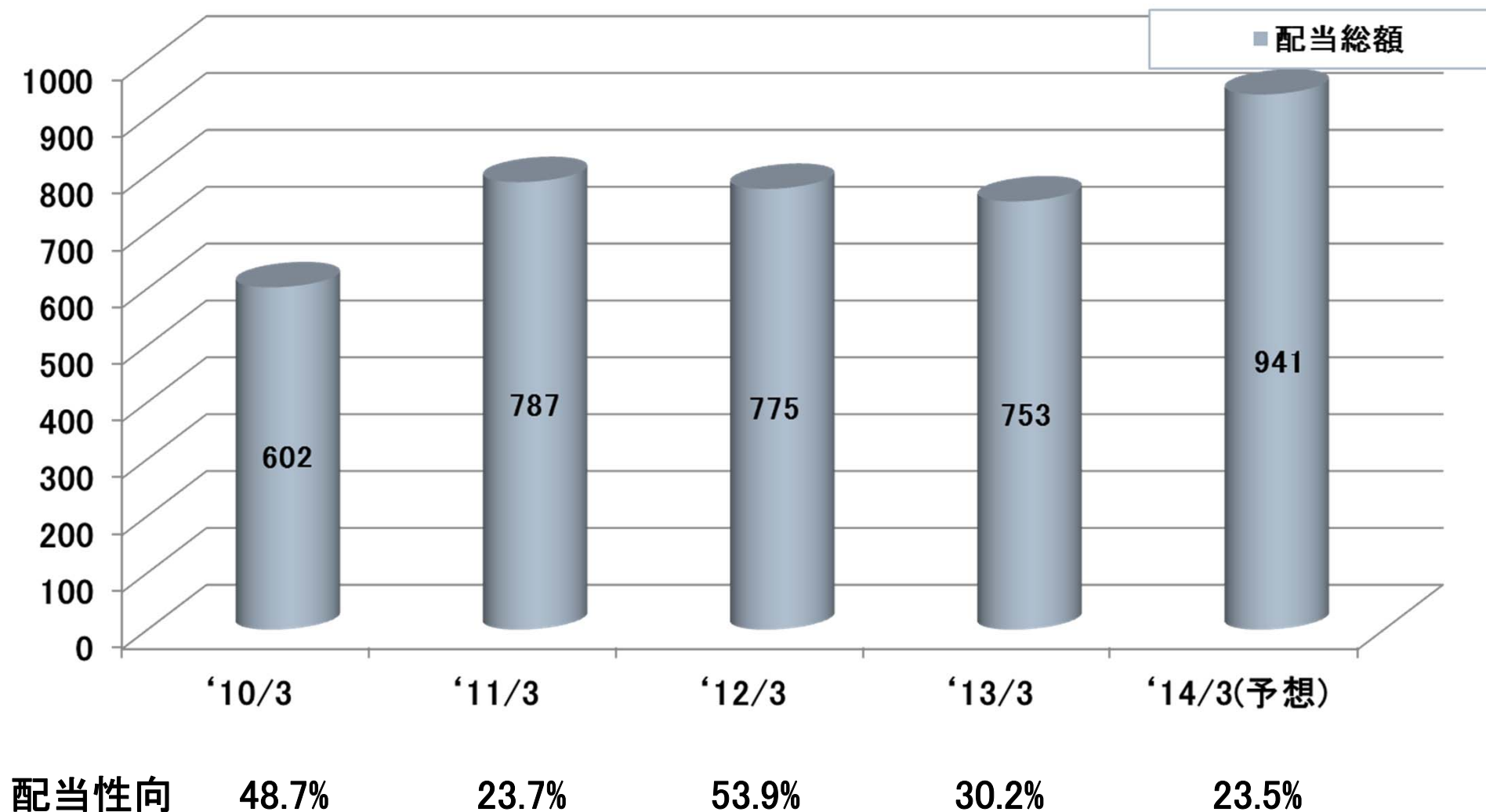


■ 設備投資額と減価償却費の推移



株主還元

百万円



■ 主なトピックス

- 4月 ・販売子会社の合併を実施
 (東日本バンドー株式会社が北海道バンドー株式会社を合併)
 (西日本バンドー株式会社が九州バンドー株式会社を合併)
 ・ビー・エル・オートテック株式会社が新世代ロボット用クイックチェンジ
 「QUICK-CHANGE ZEUS」(150～230kg可搬)を発売
- 5月 ・中長期経営計画“Breakthroughs for the future”(未来への躍進)を発表
 ・「Intermach2013」に出展(バンコク国際貿易展示場)
- 6月 ・敷くだけのフロアサイン「STOP SHEET」を開発
 ・「FOOMA JAPAN2013」に出展(東京ビッグサイト)
 ・「M-Tech2013」に出展(東京ビッグサイト)
- 8月 ・「CSR報告書2013」を発行
- 9月 ・バンドー興産株式会社がメガソーラー発電所
 「BANDO eco moving 足利太陽光発電所」を足利工場内に開設
- 10月 ・張力計テンション・マスター®の張力計算ホームページサイトを開設
- 11月 ・鉄道車両用難燃性ゴム床材「バンドーバンライト®EZ-Stick®」を発売



↑ 新世代ロボット用クイックチェンジ
「QUICK-CHANGE ZEUS」



↑ 敷くだけのフロアサイン
「STOP SHEET」



↑ 鉄道車両用難燃性ゴム床材
「バンドーバンライト®EZ-stick®」

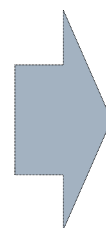
Ⅲ. 中期経営計画(BF-1)

BF-1 : Breakthroughs for the future 1st stage

Breakthroughs for the future 1st stage 5つの指針

既存事業の「進化」と「深化」により、純有利子負債ゼロで、恒常的に営業利益率10%以上を出せる収益体質を確立する。

新事業の創出にむけた研究開発と市場開拓を強化し、新製品の開発を完了する。



定量目標(2017年度、連結)

◆ 売上高	⇒	1,000億円
◆ 営業利益	⇒	100億円
◆ ROA	⇒	6%
◆ 新製品比率	⇒	30%

設備投資額: 250億円／5年間

研究開発投資額: 50億円／5年間

1. グローバル市場戦略の進化

- | | |
|---|------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・生産増強・市場開拓 ・サプライチェーンマネジメント強化 | 海外事業 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・付加価値向上 ・販売網の再構築 | 国内事業 |

2. 製品の進化

- ・市場最適仕様の開発
- ・「環境・省エネ・高機能」への進化

3. ものづくりの進化

- ・桁違い品質の実現
- ・コスト競争力の革新

4. 新事業の創出

- ・オプトエレクトロニクス
- ・自動車/交通 ・エネルギー ・ロボット

5. 経営品質の進化

ポートフォリオマネジメントの強化

連結経営管理の強化

人材育成強化

財務体質強化

(1) 5つの指針：グローバル市場戦略の進化

重点施策

- アジアを中心とする伸長市場におけるベルト事業のさらなる拡大
- 付加価値の向上や販売体制の強化

当上期の実績

海外事業 海外売上高36億円UP、海外売上高比率3.8%UP

生産設備の新設と増強	■ タイ	農機用伝動ベルト	ライン増強
	■ 中国	四輪用伝動ベルト	ライン増強
		クリーニングブレード	ライン新設
	■ インド	新工場が本格稼働	ライン増強
	■ インドネシア	四輪/二輪車用伝動ベルト	ライン増強
		コンベヤベルト	ライン増強

国内事業 付加価値の向上や販売体制の強化

- 高機能化製品・伝動システム「HFDシステム®」の販売に注力
大手商業施設、N社熊本工場で採用開始
- 販社統合 エリア制による 販売体制の強化
- 販売網を活用したフィールドサービス(保守・点検)の提供
- 販社～代理店 間での電子商取引開始(13年8月)



インド バンガロール工場



資源開発向けコンベヤベルト

(2) 5つの指針：製品の進化 ①

地域ニーズに根差した市場最適仕様の開発と環境・省エネ・高機能化

当上期の実績

■ 市場最適仕様の開発

- ・中国/タイの技術センターによる技術サービス強化、情報収集の推進
- ・中国技術センターの評価設備増強



■ 新製品の開発

- ・ロボット用ツールチェンジャー
「QUICK-CHANGE ZEUS」



QUICK-CHANGE ZEUS



タイ 技術センター

外径は約70%、重量は約50%に低減した
画期的な新型の クイックチェンジとして(13年4月)

- ・クリーン化システム「BANDO MDEC®」

本体の幅を約60%コンパクト化し、製造ラインでの使用性を向上。

今後、セラミック基板市場への開発/上市活動を推進。

(13年6月)

- ・敷くだけのフロアサイン「STOP SHEET」

金融機関、病院、遊戯場等のフロアサインに採用

(13年6月)



STOP SHEET



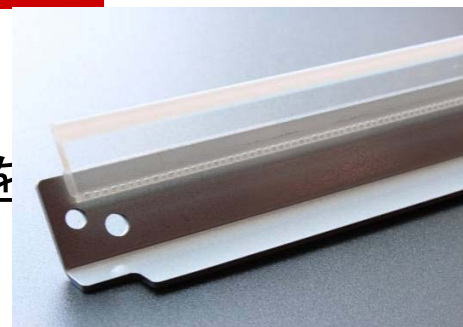
BANDO MDEC®

(3) 5つの指針：製品の進化 ②

■ 新製品の開発

・加飾成型品

有機溶剤(VOC)対策の塗装代替として調査活動の一部、iPhoneカバーを販売。(13年8月)



クリーニングブレード「G-Module®」 加飾成型品iPhoneカバー

・精密研磨材「TOPX®」

開発中の仕上げ用シリカフィルムは、業界最高の研磨速度・精度・耐久寿命を実現。(13年10月)

・クリーニングブレード「G-Module®」

拡販活動の推進、中国での組立生産の開始(13年11月)



「バンライトEZ-Stick®」

・難燃性ゴム床材「バンライトEZ-Stick®」

一部鉄道会社で採用決定(13年11月)

・次世代の歯付ベルト

「Ceptor®-VI S3Mタイプ、S5Mタイプ、S14Mタイプ」

産業機械の性能向上や環境対応のニーズに対し、幅広い使用条件に対応 (13年11月)



「Ceptor®-VIシリーズ」

(4) 5つの指針:ものづくりの進化

桁違い品質の実現とコスト競争力の革新に向けての取り組み

当上期の実績

■ ものづくりの信頼性向上

- ・全社安全総点検を実施 (国内4工場、海外14工場)

■ コスト競争力強化

＜原価企画室の設置＞

- ・原価発生の源流である製品企画段階から製品開発に参画
- ・製造原価を把握する仕組みを再構築
(Activity Based Costing:活動基準原価計算の導入)
- ・不採算製品の削減

＜調達の実績＞

- ・グローバル化に伴う海外調達の推進
- ・開発購買の推進

■ 工場の環境整備の推進

- ・国内各工場の福利厚生施設のリニューアル
- ・タイでの食堂設備の新設



国内各工場の福利厚生施設のリニューアル

(5) 5つの指針: 新事業の創出、経営品質の進化

当上期の実績

■ 新事業の創出 当社コア技術(配合・分散・複合化技術)をベースとした新事業の創出

<BF推進部の設置>

- ・中期経営計画の推進、新製品の事業化やM&Aの企画を推進。

<社内制度の制定>

- ・起業促進制度「ベンチャー☆カップ」、新製品提案制度「Seeds for the Future」創設(13年10月)

■ 経営品質の進化 グループのグローバル総合力を発揮するための経営基盤を強化

<財務体質の強化>

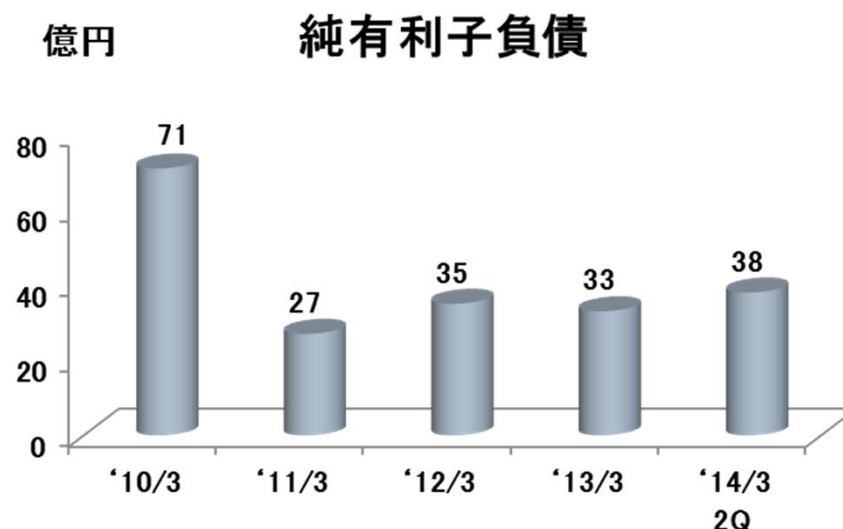
- ・純有利子負債ゼロを目指し、売上債権の早期回収、棚卸資産の削減に取り組む。

<グローバル人材育成の強化>

- ・ナショナルスタッフ管理職の能力要件の再定義、研修メニューの作成。

<連結経営管理の強化>

- ・2事業本部が中核となり、グループ会社を統括。
(事業部採算を国内外のグループ会社と連結管理)

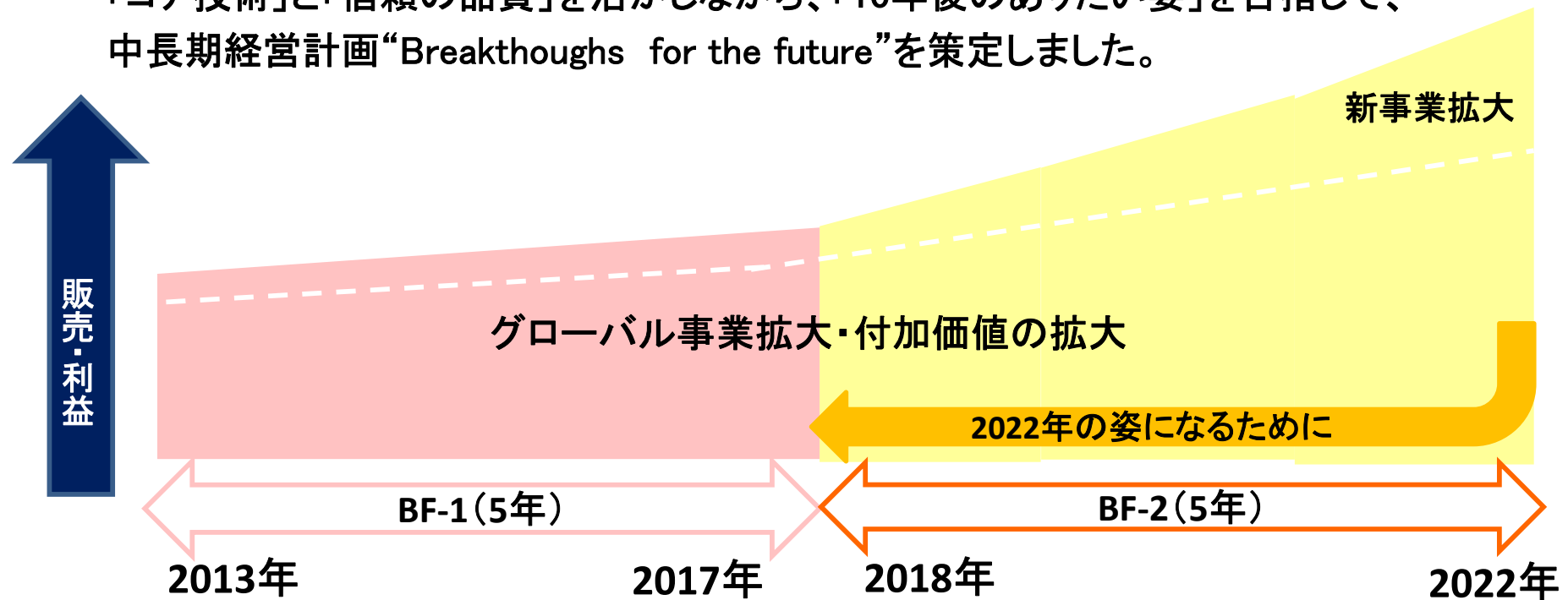


IV. 参考資料

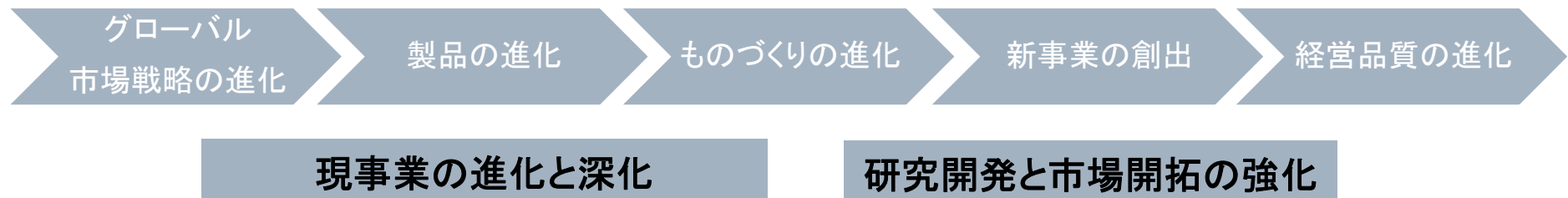
長期経営ビジョン・中長期経営計画の全体像

■ “Breakthroughs for the future” の概要

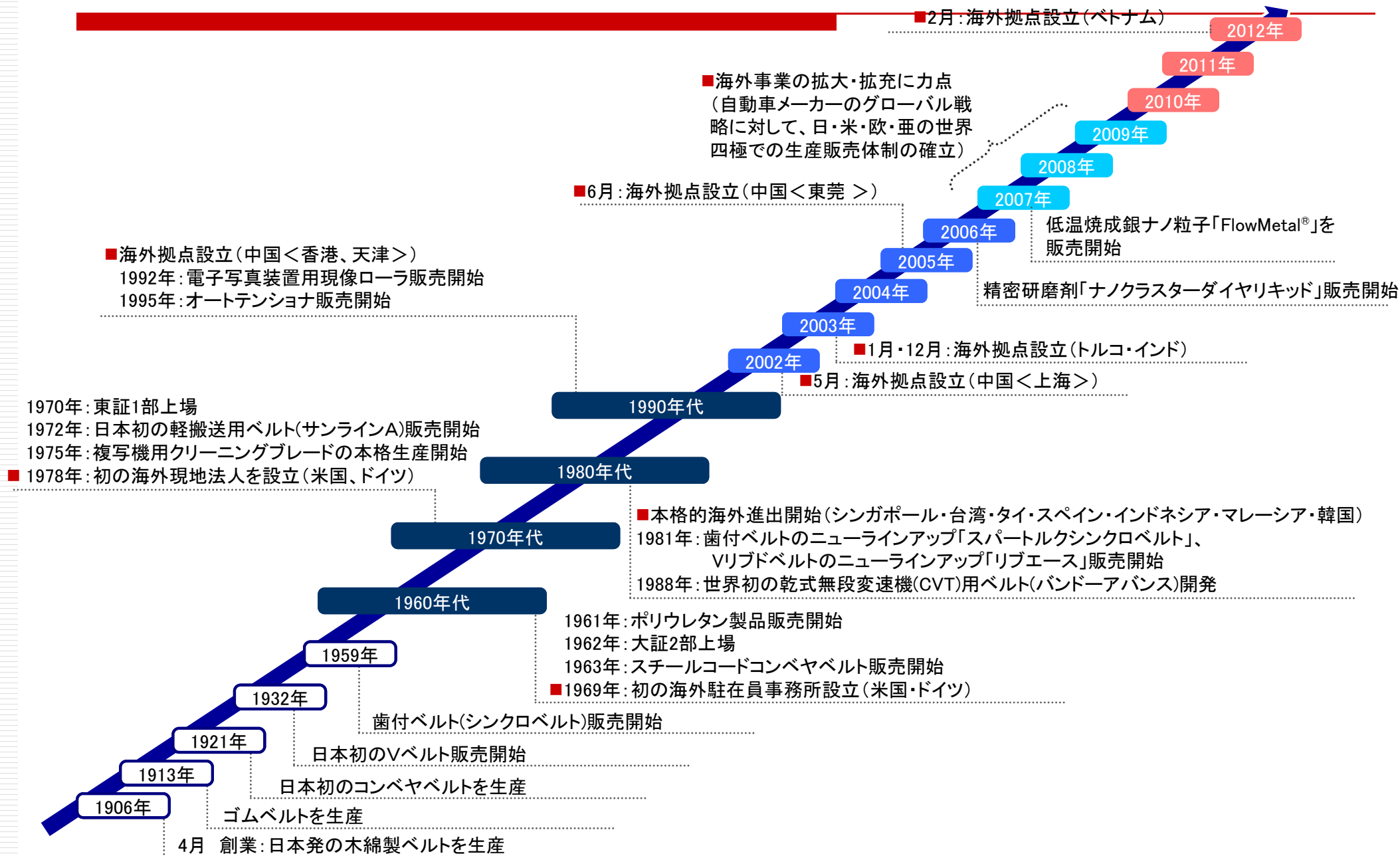
バンドーグループは、100年以上に亘る事業活動で培ったゴム・エラストマー・樹脂の「コア技術」と「信頼の品質」を活かしながら、「10年後のありたい姿」を目指して、中長期経営計画“Breakthroughs for the future”を策定しました。



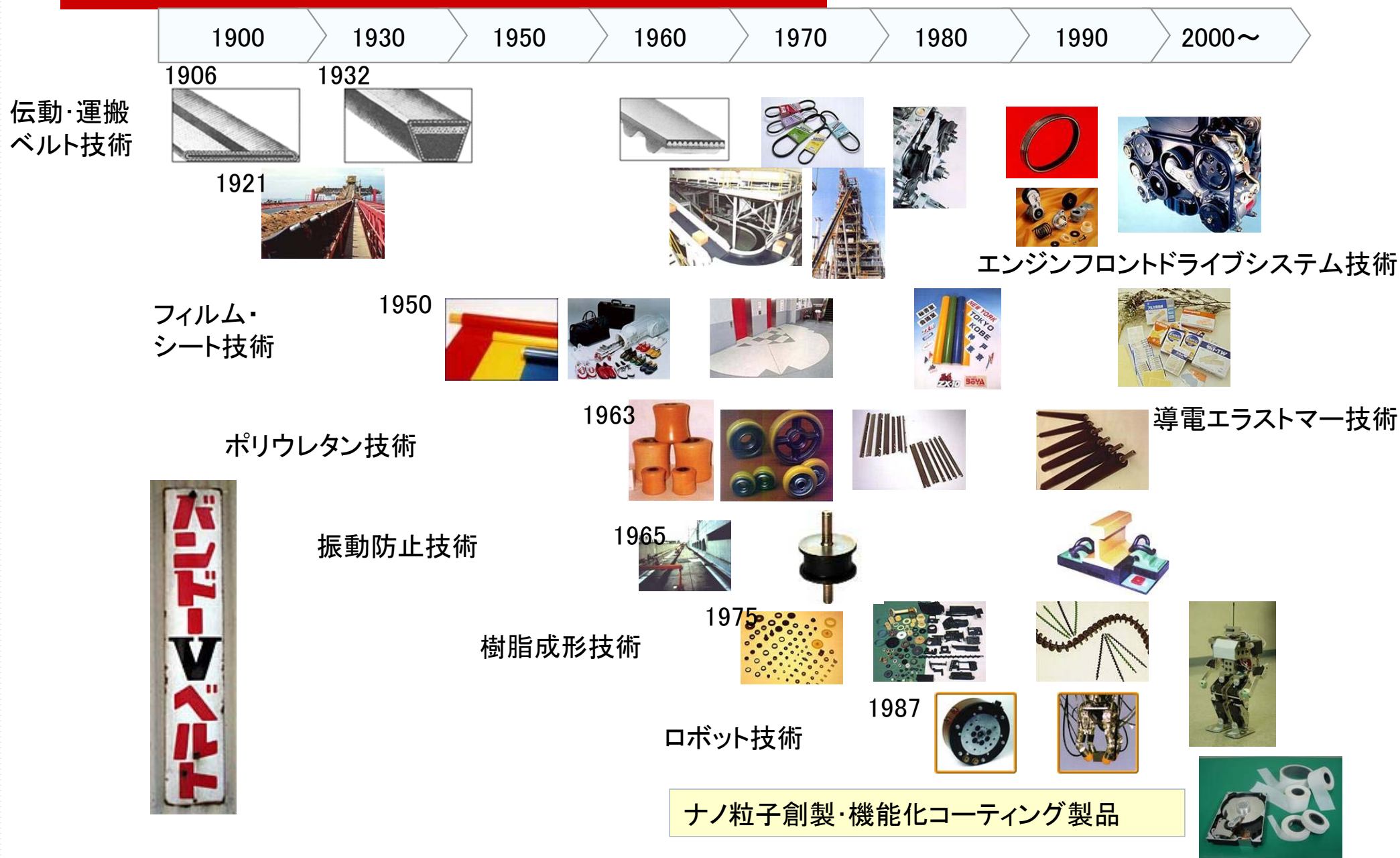
■ BF-1の5つの指針



創業100年超の歴史



当社製品100年の変遷



BANDO IN JAPAN

国内 7事業所 関連会社 13社



BANDO GLOBAL NETWORK

海外拠点 14か国21社



本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

お問合せ先

財務部 資金・管財グループ 岸本 康夫

財務部 資金・管財グループ 大堀 裕亮

電話番号 : (078) 304-2960

メールアドレス : yasuo.kishimoto@bando.co.jp